



# 南柏リビング通信

2024年  
4月号  
vol.13

発行元：(株)南柏リビング 所在地：千葉県流山市加 5-1700-1  
TEL:04-7197-4519 E-mail:info@minamikashiwa-living.co.jp



代表の川村です。先月の結婚記念日に、妻と二人で初めて歌舞伎を観ました♪一階様敷席、花道がとても近く見ごたえがありました。演目は「伊勢音頭恋寝刃」江戸時代の実際の事件をベースに作られたものだそうで、思った以上に軽快で面白かったです。妻が、感慨深げに24年前の私に教えてあげたい。なんやかんやあって24年後、歌舞伎座の様敷席にいますよと言っていました。今では、笑い話ですが、24年前、学生結婚したときは財布に300円しかなく米がきれた時がありました。不思議となんとかなるものです。ほんと若いってすごいですね。今後とも夫婦ともどもよろしく願いいたします。



## 酒井根中学校 吹奏楽部 Spring Concert 2024

3月24日、柏市民文化会館で開催された恒例の春コンサート。卒業した三年生も含め今年度のメンバー全員で演奏する最後の機会です。3時15分の開場でしたが入場無料・全席自由とあって2時には現着し並びました。が、目視でざっと100人目。注目の高さがうかがえました。酒井根中学校吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールで15大会連続の金賞を誇る関東の雄。私も柏に来たばかりのころは隣の学区に住んでいたのが「酒井根の子らよくそんなに練習するよねえ」と感心していたのですが、まさかわが子が一員になろうとは。人生わからないものです。4時の開演前には大ホールはほぼ満席になり、4階席への誘導アナウンスがかかるほどでした。第1部はコンクール曲を中心としたクラシックメインのステージ。全国大会で一金をとった自由曲の「祈りの鐘」本当に素晴らしかったです。第2部はディープパープルメドレーを皮切りに、演歌、ディズニーと盛りだくさんのポップスステージ。生徒さんたちのはじける笑顔が素敵でした。また今回7年にわたり吹奏楽部を指導されていた顧問の先生が異動とのことで、最後のほうで泣きながら演奏している子たちがいたのも印象的でした。今後も素晴らしい演奏を期待しつつ陰ながら応援していきたいと思っております。

### 稟議は匝る（あらずじ）

農林銀行に勤める山本は、企業向け融資を担当し、行内ではその実力に一定の評価を受けている。しかし仕事を頑張れば頑張るほど倒産リスクの高い取引先（通称：破綻懸念先）を任されるようになる。一般的に破綻懸念先の担当は、細かく回収を行い、取引先に自己破産を迫ったり、返済期間の長期化による問題の先送りをする事が多いが、山本は、当該企業に抜本的な経営改革を迫り、金融機関が債権放棄を行う再建計画を策定して企業を再生するのだ。企業再生で企業は生き返り、雇用も維持されるが、取引先も赤字部門の廃止、代表者など役員の変更、リストラや給与の一律削減など痛みを伴う改革となることから、成功したとしても、関係者から心情的に決して感謝はされない。また手間暇かけて、自分の行内の担当ラインや関係部署を説得しても、自分の銀行の債権を放棄するのだから、評価もされず、出世コースに乗ることはない。地方支店の破綻懸念先を担当し、企業再生したら、次の地方支店に赴任する、そんな山本の転勤を行内の人間は、「ドサ回り」と呼び、破懸先（はげさき）の山本と揶揄していた。山本は、札幌支店への転勤を機に、「白銀水産」の担当をすることになる。白銀水産のメイン銀行は、北都銀行であり、農林銀行は準メイン銀行の立場。これまで山本は、自分がメイン銀行である先の再建計画を取り仕切ってきたが、初めて他の金融機関のメイン先のサポート役に回ることになる。北都銀行から、白銀水産に企業再生のために出向として派遣されている経理部長の藤沢と山本は、意気投合。道東地区で一番の水産会社である白銀水産の経営を再建するためお互いの銀行の垣根を越えて、企業再建に向けて取り組んでいく。水産会社は一般の企業と比較し、明確な赤字部門を見つけるのが難しく、再建計画作成には苦戦する。また農林銀行の方針や、行内の権力争いも相俟って、再建計画は迷走する。検察の捜査、国税、自衛隊、漁船の拿捕、子どものいじめ、一本の稟議は、匝る。



「小説家になろう」で連載中【URL】<https://ncode.syosetu.com/n6360iq/> 右のQRコードからご覧ください